(様式第3号)

企業・団体名(株式会社関電工長野支店)

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.11.30変更】

項	カ				1	= #### = AD		3	主なSD	Gs (17	ゴールと	1695	ーゲッ	ト)関連	項目	
項目番号	テゴ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合	【予定】の 場合	(県などの取得認証があれば、併せて記載)		2 3	4 5	5 6	7 8	9	10 11	12 13	14 1	
号	ij		- 7,5	選択入力	選択入力	(【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	heed.	<u>₩</u>	M	7	8 mm	*	4	∞	W:===	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制 を整備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			・関電工グループ企業行動憲章(社員全員に小冊子配布、社内 HP掲載)「より良い企業風土づくりに関する事項」で差別の禁止を明記しており、毎月の朝礼等で従業員へ周知徹底をしている。			5. 5. 5.		8.5 8.7 8.8		0.2			16.1 16.2 16.7
2	=	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相 談体制を整備している	基本(必須)			・関電エグループ企業行動憲章「より良い企業風土つ くりに関する事項」でハラスメントの禁止を明記しており、毎月の朝礼等で従業員へ周知徹底している。 ・コンプライアンス窓口の設置、eラーニングによる研修等を実施している。	Ď.		5. 5. 5.	.2	8.5 8.8					16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			・毎月労働負荷軽減委員会を開催し、経営者および 組合代表者と労働負荷について意見交換や対策を 検討している。					8.5 8.8					
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本(必須)			・外国人労働者への適切な処遇を行っており、宗教や 文化の違いから起こるトラブルを避ける為、意見交換 会を開催するなど労働環境の整備を行っている。	5		4.4		8.7 8.8		10.2 10.3			
	人権	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでい る	基本(必須)			・毎月安全衛生委員会、担当者会議を開催し、災害 事例等を従業員へ周知徹底している。 ・危険作業検討会を開催し、災害防止に努めている。		3			8					
	· 労 働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			- 2025年度衛生活動計画を策定し(メンタルヘルス 強化に関する方針と取組)従業員へ周知している。 ・健康相談窓口の設置を設置している。 ・社外の専用窓口を新たに設置している。		3								
7	-	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環 境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			・社内HPに障がい者や男性の育児休業取得者のインタビューや女性活躍推進プロジェクトの活動を掲載し、多様な人材が活躍できる環境の整備に取り組んでいる。			5. 5.		8.5		10.2			
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本(必須)			・2025年度人材育成計画により、職務・職責に応じた 研修を実施している。	=		4 5.	.5	8	9				
9		【公正な待遇】・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			・パートタイム・有期契約労働法の施行に伴い、同一 労働同一賃金等の原則に沿って労働条件の見直しを 実施している。	Ē		5.	.5	8.5		0.2			
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・健康診断結果に基づき要所見者には保健師面談を 実施している。 ・禁煙外来受診者に補助金を支給している。		3			8					
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本(必須)			・産廃業者への定期的な実地確認を実施している。 ・契約書および許可証を確認している。							11.6	12	14.1	
	環	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本(必須)			・環境目標を策定し、エネルギー使用量および温室 効果ガス排出量を把握している。					7.3			13		
13	境	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本(必須)			・温室効果ガス排出量の把握、ハイブリット車の導入、 LED 照明の導入等、排出の抑制に取り組んでいる。					7.2 7.3			12.4 13.3		
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使 用に取り組んでいる	基本(必須)			・法令で規制されている有害化学物質を把握し、現場で確認された場合は適切に処分している。 (石綿、PCB、水銀(蛍光灯)、鉛(バッテリー)など)	<u> </u>	3.9		6.3			11.6	12.4		

項力	b l		- 4-	【非該当】	【予定】の 具体的な取組		0 0	主な	SDGs	: (17⊐"-	-112	169	ターゲ	ット)	関連項	且	140	
項目番号	テゴリ	チェック項目	取組 レベル	の場合 選択入力	場合 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 選択入力 (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	100.	2 3	4	5 •	6 7	8		10 1		13 14		16	
15	,	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本(必須)		・環境推進計画として「環境負荷の低減」「環境教育の実施」「環境マネジメントの定着化」「サプライチェーンCO。排量の算定」に取り組んでおり、生物多様性保全に配慮している。	出			_	6.6						15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本(必須)		・資源利用の削減を意識し、再利用を推進している。 再利用できないものは分別保管をし、再資源化している。 る。	í								13	14.	.1		
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		・水道使用量を毎月測定し、利用効率の改善に取り 組んでいる。	1				6.4 6.6								
18 号	睘竟	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)		・環境基本方針に基づき全社にわたる環境マネジメトシステム (EMS)を構築し、継続したシステムの改善に取り組み、積極的な環境保全活動を推進している	1	3.9)		6 7				12	13.3 14	4 15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)		・HPに「環境負荷低減の取り組み」「電気の省エネルギー化」「省資源の取り組み」「グリーン電力」「車両の省エネルギー化」「環境美化活動」等の情報を公開ている。	りし								12.6				Ī
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		ている。 ・日本自然エネルギーと「グリーン電力証書システム 基づく契約をしており、2021年度には100万KWhの! 然エネルギー発電によるグリーン電力証書が交付されている。	自				7.2	2				13			Ī
21	Ī	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		認証製品(森林、パーム油、ゴム、コーヒー等ブランテーションにより生産される原材料、天然水産物および養殖水産物を利用する。 非合法材を使用していないことを確認を行う。	5								12.2	13 14	4 15		
22		【汚職・贈収賄防止】・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)		・関電エグループ企業行動憲章「公正な取引に関する事項」で利益供与・便宜供与等の禁止を明記しており、毎月の朝礼等で従業員へ周知徹底をしている	0											16 16.5	
23	-	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)		・												16	1
24	公	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本(必須)		・本社主管部所(技術開発部知的財産管理チームが研修資料、啓発資料等を作成し、従業員に周知している。						8.2 8.3	9						T
コ 25 ま	j	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本(必須)		・個人情報管理規程、個人情報取扱手引に基づき、個人情報管理台帳に記載し、半期に一度保有状況を確認しており、適切に管理をしている。												16	
26 慣	貫	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って <u>いないこと</u> を確認している	チャレンジ (任意)		【予定】 自社の使用する資機材のサプライチェーンを把握する。	-											16	1
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		「関電エグルーノ調達力割に番づさ、取り元とのハトナーシップの構築・維持・向上により努めている。また、取引先の関係・先に対しても、「人権尊重」「法令社会規範の遵守」「安全・衛生の確保」「品質の確保「環境への配慮」「情報セキュリティ」「社内体制の整備」なお願い、「大きな	₹」			5		8		10	12	13 14	4 15	16	3 1
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本(必須)		・工事施工における想定されるリスクの洗い出しと対 を実施している。 (人身災害・設備事故未然防止用事例一覧など社内 HPに掲載		3				8	9	10					10

項			F-II-04-W T	[[[]]] 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日						と169ター					
目	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 具体的な取組 場合 (県などの取得認証があれば、併せて記載)	1	2 3	4 5	6	7 8	9 10	11	12	13	14 15	16 1
項 目 番号	7 - 7 7 7 4 1	レベル	選択入力	選択入力 (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	1 m. 84948	2 ::: 3 ::::: -W	4 mm 5 mm	6 :::::	******	9 monter 10 cottor (♣)	11 ::::::: All	(X)	13 ::::: M	15 1:1***	16 17
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本(必須)		・工事施工における想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 (人身災害・設備事故未然防止用事例一覧など社内 HPに掲載)		3.9)					12.4			
製品・サ	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本(必須)		・品質基本方針に従い、品質のよいサービスを提供するよう従業員に周知している。 ・ISO9001取得(有効期限:2026年2月27日)	†					9					
31 Z	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		・再生可能エネルギー発電事業に取り組んでいる。 (風力発電2カ所、太陽光発電12カ所、小水力3カ 所、バイオマス1カ所)				6				12	13	14 15	
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		・安全で快適な社会インフラの維持・構築、災害の復 旧・復興に取り組んでいる。	1	2 3	4 5	6	7 8	9 10	11	12	13	14 15	16 13
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本(必須)		・地域との対話を実施し、当社事業の地域への影響 を把握し改善に努めている。			4			9	11	12		14 15	17
地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		・「日本パラスポーツ協会」「日本プラインドマラソン協会」に協賛している。 ・「富士山の森づくり」「フードバンク活動」に参画している。			4				11			14 15	17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ (任意)		【予定】地域の原材料の優先的利用を促進する。					8	9	11	12	13		
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本(必須)		・経営理念を明文化し、経営計画を従業員に周知している。(ポスター掲示、社内HP掲載)					8	9					17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築 している	基本(必須)		・関電エグループ企業行動憲章にてコンプライアンスの重要性について従業員に周知している。 ・e-ラーニングによる研修を実施している。											16
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を 整備している	基本(必須)		本社主管部署として安全・環境本部、内部統制本部を設置しており、最高グリーンイノベーション責任者 (CG(O)、最高リスク管理責任者(CRO)を選任している	3										16
39 組織体	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及 ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全 体)	基本(必須)		地域、取引先等との対話を実施し、当社事業活動が ステークホルダーへ及ぼす影響を把握し、適切に対 応している。											16 17
制 40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)		・リスク一覧表を作成し、リスク事象、リスクが顕在化した時の影響、リスク評価、リスク対策等を行っている。	,										16
41	・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組	チャレンジ (任意)		・HPにコーポレートガバナンス基本方針および報告書を公表しており、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して責任を持った対応に取り組んでいる。											16
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)		・非常災害対策規程、非常災害対策本部構成員表 を作成しており、定期的に災害復旧訓練、本支店通 信訓練、安否確認訓練等を実施している。						9	11		13 13.1		16
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)		・次世代リーダー研修、NGG(ネクストジェネレーション グループ)研修、技術・技能の継承等を行い、人材の 育成を実施している。					8	9					13

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2 3	4	5	6	7	8 9	10	11	12 1	3 14	15	16 17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ 登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづく りエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証 制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 〇 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<u>赤字</u>で番号を記載
- 〇 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定